

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード I-1-(1)

政策体系	施策名	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画(プラン2005)頁	25
	政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部、商工労働部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	地域における子育ての支援	子育ても仕事もしやすい環境づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	年度	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)												
			基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125									
i 合計特殊出生率全国順位(位)	①	H16	16	5	12(概報)	83.7%														
ii 地域子育て支援拠点数(か所)	①	H22	59	71	66	93.0%														
iii ファミリー・サポート・センター事業実施市町村数(市町村)	①	H22	10	18	13	72.2%														
iv 一時預かり実施保育所数(か所)	①	H16	86	135	154	114.1%														
v 延長保育実施保育所数(か所)	①	H16	131	200	225	112.5%														
vi 病児・病後児保育実施施設数(か所)	①	H22	13	22	21	95.5%														
vii 放課後児童クラブ数(クラブ)	①	H16	165	287	293	102.1%														
viii 育児休業制度規定企業の割合(%)	②	H16	68.7	80.0	79.2	99.0%														
ix 次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業数(社)	②	H22	5	20	21	105.0%														

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成不十分	全国トップレベルの保育料の減免や子ども医療費の助成等経済的支援とともに、地域子育て支援拠点等の子育て環境の充実を行ったが、目標値を達成できなかった。なお、合計特殊出生率は、前年の1.57から0.03伸張し、1.60となり、平成6年以来21年振りに1.6台に回復した。		概ね達成
ii 概ね達成	実施主体である市町村への積極的な働きかけ、地域子育て支援拠点事業の充実等により、目標値を概ね達成した。		
iii 著しく不十分	実施主体である市町村への直接の働きかけ、複数市町村での事業の共同実施の提案等により、一部市町村で実施に至ったが、目標値は達成できなかった。なお、ニーズ調査に基づき策定した各市町村の子ども・子育て支援事業計画では、16市町が31年度までの実施を計画しており、引き続き早期実施に向けた支援を行う。		
iv 達成	担当者説明会等を活用した市町村や事業者への働きかけなどにより、目標値を達成した。		
v 達成	担当者説明会等を活用した市町村や事業者への働きかけなどにより、目標値を達成した。		
vi 概ね達成	施設整備費助成のほか、担当者説明会を活用した市町村等への働きかけなどにより、目標値を概ね達成した。		
vii 達成	放課後児童クラブの設置や運営経費に対する支援の実施等、市町村への積極的な働きかけ等により、目標値を達成した。		
viii 概ね達成	企業に対しワーク・ライフ・バランスの推進を図ることにより、育児休業等に対する理解が進み、目標値を概ね達成した。		
ix 達成	男性の育児休業等両立支援に取り組む企業をモデル企業に指定し、その活動に対する助成やアドバイザー派遣等の支援を行うことにより、目標値を達成した。		

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・未就学児全世帯を対象とした「おおいた子育てほっとクーポン」の配布により、子育て世帯の育児負担の軽減とともに、子育て支援サービスの周知が図られた。 H27ほっとクーポン申請率:94.0%
②	・男性の育休取得に取り組む企業をモデル企業に指定し、奨励金を支給するなど支援しているが、平成27年度は指定社数を21社から31社に拡大し、次世代育成支援対策推進法第13条に基づく認定企業への移行を促進した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	大分にこにこ保育支援事業	252,896	A
	地域子ども・子育て支援事業	364,833	A
	放課後児童対策充実事業	338,185	A
	子育て支援従事者研修事業	9,614	A
	おおいた子育てほっとクーポン活用事業(まち・ひと・しごと創生事業)	222,814	A
②	ワーク・ライフ・バランス実践支援事業	15,905	C

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○おおいた子ども・子育て応援県民会議(H27.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおいた子育てほっとクーポン」で利用できるサービスを増やして欲しい。 ・経済的な理由で放課後児童クラブを利用できない子どもがいる。誰もが利用できるようにして欲しい。 	<p>○安心・活力・発展プラン2015推進委員会(H28.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の声を聞き行政につなげることが必要。保育士などキーパーソンの質の向上に予算を投じるべきではないか。
--	---

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおいた子育てほっとクーポン」の配布により、子育て支援サービスの周知・利用促進が図られた。引き続き事業の充実に取り組み子育ての負担の軽減を目指す。 ・市町村と共に保育料を助成し、未就学児の子育て家庭の経済的な負担の軽減を図ったが、新たに放課後児童クラブ利用料の軽減に取り組み、就学後の子育て家庭の経済的負担軽減を図る。 ・保育士確保に向けた取組や研修の強化により、待機児童の解消、保育の質の確保を図ってきたが、新たに子育て支援員研修等を実施することにより取り組みを加速させる。 ・市町村への働きかけ等により、病児・病後児保育など子育て支援サービスの充実が図られた。今後も市町村子ども・子育て支援事業計画に基づくサービスの充実を支援する。 ・長時間労働を見直し多様な働き方が可能となる職場環境を整備するため、引き続き経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの推進を図る。